

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

| | |
|----------------------------------|--|
| 参加年度（出発年度） | 2020年度 |
| オンライン留学先国 | イタリア |
| オンライン留学先大学 | ボローニャ大学 |
| プログラム開始日 | 2020年9月1日 |
| プログラム終了日 | 2021年6月30日 |
| 今回の留学にかかった費用 | 20000円（もともとの金額はそこまで高くはないものの、コロナ禍による航空便の本数減少により、書籍の単価あたりの送料が高くなった。） |
| 留学の目的とその達成度合 | そもそもオンラインであったため、イタリアの学生と交流し、幅広く知見を広めるという第一の目的は達成されることがなかった。自分の学びたいことに関しては、美術史と中世ヨーロッパを扱う歴史の授業を受けることができた。だが、現地で授業を受けているわけではないので、学生同士で交流したり、助け合ったりする場面が全くなかった。達成度、というよりは満足度の話になるが、総じてあまり満足のものではなかった。 |
| 留学を通して得たもの（スキル、経験） | 日本語で高等教育を受けることに関してそれ相応の日本語力が求められることと同様に、イタリア語においても、それ相応の語学力が求められる。大学の授業を理解するための単語力や表現、先生の話し方など、今後現地渡航して留学する際の練習になった。日本に留まっていただけでは、どの語科もそうであろうと思われるが、周りが同じ日本人の学生が多い中で、学術用の言語を学ぶことはなかなか難しいと思われる。オンライン留学で周りに日本人もおらず、まして学生同士で交流する場などない自分は孤独であったが、そうした厳しい環境の中で学術のイタリア語に慣れることができたと思う。その反面、オンラインだからこそ得られた経験というものはなく、むしろ「留学」という言葉から連想されうる出来事、活動等が経験として得られることは一切なかった。 |
| 留学先大学への支払い方法 | - |
| 履修した科目 | 美術史☑ 中世初期ヨーロッパ |
| 授業内容 | マイクロソフト社のTeams☑ 新たにアカウントを取得せずとも、派遣先の大学から配布されたアドレスをもとにTeamsにログインすることで使える。それを用いて、授業のスライドが黒板の代わりとなって配信される。留意事項としては、こちら側の回線の問題ではなく、現地の回線の問題であるのだが、スライドの枚数及びその容量が大きいために、先生のネットのつながりが悪くなってしまうことが多々あった。 |
| 授業の開講時間および現地時間との時差 | イタリアとの時差は、サマータイム中は7時間、それ以外は8時間であった。外大の授業との兼ね合いもあり、外大の授業をメインに受けていたため、深夜帯の授業は避けた。☑ 受講した授業の時間は、☑ 16時～18時（時差8時間）☑ 19時～21時（時差7時間）☑ 22時～24時（時差7時間） |
| 外大の授業との両立について | 計画的に履修していたので、特段焦って外大の授業を詰め込む必要はなかった。そのため、15時前に外大の授業を受け終え、それ以降にオンライン授業をする形で形式上は両立できた。だが、バイトやその他外大の課題や、就活準備等、様々なことに追われるため、時間的に両立できているように思えても、内実はそうではない。 |
| 授業内容やプログラム全体に対する感想 | 上記のとおり、派遣先によって評価が分かれると思うが、総じてあまり満足のものではなかった。☑ 個別具体的にみれば、交流こそなかったものの、外国語で受ける授業がどういふものか、体感できたことはかなりの経験になった。完全に達成できてはいないが、日本語での知識をイタリア語で置き換える、表現できるように試行錯誤することができたとおもう。 |
| 現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について | 上記のような機会はなかった |
| 交流活動の具体的内容 | - |
| プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10） | 4 |
| その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想） | 単位に関して焦ることがないように、1年時と2年時に計画的に履修を進めており、三年次には余裕を持てるようにした。回線に心配があったため、念のためにポケットWi-Fiを自腹で契約した。困だし、オンラインという試みは初だったため、今までの過去の先輩方の事例を参考にしようとしても参考に全くならず、当初はスケジュールのイメージが全くできていなかった。これは自分の管理不足による自己責任ではあるが、だからこそ、オンライン留学によって卒業を一年遅らせたことにより後悔のこる事となった。スケジュールの問題というのは、オンライン留学による生活時間が一般人と異なることのみならず、その他の部分でやるが多くなるために、他人と関わることがほとんどなくなり、部屋にこもりがちにならざるを得なくなった。 |
| 今後の予定について教えてください。 | 派遣（交換）留学プログラム終了 |
| 「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。 | - |
| 今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど | よほど時間的、あるいは精神的余裕があるのでない限り、オンライン留学はお勧めしません。留学期間中ということもあるのですが、オンライン留学で生活時間が一般人と異なるばかりか、やるが多くなるために（一人暮らしの場合は特に）他人と関わる時間が一切なくなることもあるため、部屋にこもりがちになります。派遣先で特別プログラムのもとで現地の大学生と交流するシステムが構築されているなら別ですが、そうしたものが無い場合は、「留学」という言葉のもとでイメージされるものはほとんど達成されないものと思った方がよいかもかもしれません。ただし、だからといって規則を破って現地渡航することは、世間に外大生として認知されている皆さんがすべきことではありません。自分の代の学生では、休学であることをいいことに、規則を破って現地渡航をする方々が多数見受けられましたが、学長はじめとして大学職員の方々が必死になって感染対策を講じ、社会的責任を果たされている方々の努力を無に帰することになります。きちんとワクチンを接種したのちに、現地渡航されることが、自分の願いです。 |

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

| | |
|----------------------------------|--|
| 参加年度（出発年度） | 2020年度 |
| オンライン留学先国 | イタリア |
| オンライン留学先大学 | ポローニャ大学 |
| プログラム開始日 | 2021年2月1日 |
| プログラム終了日 | 2021年6月30日 |
| 今回の留学にかかった費用 | 教科書代6000円。 |
| 留学の目的とその達成度合 | 個人的には、オンラインよりも現地渡航の方が圧倒的に得られるものが多いと思っていたので、現地渡航がコロナによって頓挫してしまった時点で、留学自体を中止するつもりでいました。ただ、2020年が自分にとって何もできなかった「空白の年」になってしまったこともあり、また、幸いなことに大学院進学を親が許してくれたこともあって、今後もイタリア語を使う機会がまだまだあると分かった時、少しでも言語に触れる機会を増やしておきたいと思いました。目的としては、1年ほどあるブランクを克服してイタリア語のスキルをあげることが、まずあります。そして、院進学後に現地渡航する可能性を考えて、その前準備としてオンライン留学に参加した面が大きいです。達成度合いとしては、言語スキルの向上というよりは、他言語を扱うことへのハードルが低くなり、イタリア語に対する苦手意識が払拭されました。また、現地渡航と比べて諸々の手続きは少ないのですが、それでも留学開始と終了の際に何をすべきなのか、しっかりと確認する良い機会となりました。 |
| 留学を通して得たもの（スキル、経験） | イタリア語の授業では、読む、書く、聞く、話すの能力の中で「話す」能力に重点が置かれているような印象を受けました。とにかく毎度の授業で必ず何か意見を言ったり、ある程度の長さの発言を促されたりしました。その結果、「ある質問やテーマに対しての、自分なりの意見や答えをスピードをもって考え出す」、「自分が思ったことや考えたことを言語化して相手に伝える」といったことが、留学前と比べて比較的スムーズに行うことができるようになりました。 |
| 留学先大学への支払い方法 | クレジットカード払い |
| 履修した科目 | CORSO DI LINGUA ITALIANA(イタリア語授業)☒ STORIA DELL'ARTE MODERNA(近代芸術の歴史) |
| 授業内容 | イタリア語の授業は、教科書をもとに補語人称代名詞(lo, la, li, leなど)から接続法まで、幅広い文法事項を確認しながら、その合間に「若者の希望職種」や「SNSの影響」といったテーマについてグループに分かれて意見交換しました。またプレゼンテーションの発表や、映画を見てそれについて考えたことをレポートとして提出するなどの課題も出されました。☒ 近現代の芸術の授業は、スライドで示される絵画を見ながら、ポローニャを中心としたイタリア芸術家の絵画作品について、教授が説明されるのを聞く、という授業形態でした。大人数の授業で、特に授業中に意見を聞かれたり、発言を促されるようなこともありませんでした。 |
| 授業の開講時間および現地時間との時差 | 17:00から19:00(時差8時間)☒ 21:30から23:30(時差8時間)→途中からサマータイムに入り、20:30から22:30に時間が変わりました。 |
| 外大の授業との両立について | 週に、外大の授業4コマ、留学先大学の授業5コマ(芸術の授業は週3回、イタリア語の授業は週2回あったため)履修。授業数が少なかったこともあり、特に両立で難しい点はありませんでした。ただ、夜遅くまで授業があったので体内時計が狂いやすく、夜遅く寝て朝も遅く起きるというサイクルを繰り返していました。 |
| 授業内容やプログラム全体に対する感想 | 授業自体はとても楽しかったのですが、いかせん場所がずっと自宅なので、途中から“ダレて”しまいました。これまで、場所を変えることで気持ちを切り替えていたので、授業への参加意欲が落ち込んだりすることが多々ありました。在宅での授業に慣れていないこともあって、なかなか集中しづらかったです。 |
| 現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について | 上記のような機会はなかった |
| 交流活動の具体的内容 | - |
| プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10) | 6 |
| その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想） | オンライン留学をして後悔は全くないのですが、一昨年、1ヶ月ほどイタリアに短期留学した時と比べると、物足りなさを大きく感じてしまいました。ただ、言語に対しての興味や勉強へのモチベーションを高める機会としては、最良のものだったと思います。 |
| 今後の予定について教えてください。 | 派遣（交換）留学プログラム終了 |
| 「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。 | - |
| 今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど | ・サマータイムのことをすっかり失念していて、何度か授業に遅れたことがあります。時差の確認はマメにやっておくのが良いと思います。☒ ・オンライン留学は参加前に必ず家族と相談してください。私の場合は家に自室がないため、リビングや寝室、押し入れで授業をしたこともありました。また夕飯のタイミングと授業時間がかぶっており、家族に不満げな顔をされたこともあります。時差によって夜の時間が縛られることを事前に伝えておくのが良いと思います。 |

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

| | |
|----------------------------------|---|
| 参加年度（出発年度） | 2021年度 |
| オンライン留学先国 | イタリア |
| オンライン留学先大学 | ボローニャ大学 |
| プログラム開始日 | 2021年9月20日 |
| プログラム終了日 | 2021年10月31日 |
| 今回の留学にかかった費用 | 0 |
| 留学の目的とその達成度合 | 私的理由で渡航日が現地の大半の講義開始日より遅くなってしまうため、主に受講する講義を渡航日以降に開始するものに定めて履修することにした。そのため留学生向けに開講されている講義をオンラインで受講して、イタリアにおける大学の講義に慣れること、および現地でそのままスムーズに講義に合流することを目的としオンライン留学に参加した。結果として渡航後に問題なく受講を進めることができたうえ、留学先で使用されていたweb会議サービスにも慣れることができた。 |
| 留学を通して得たもの（スキル、経験） | 国外の学生がどのように講義を受講しているか知ることができたため、どのような質問が効果的か、どのようなタイミングで質問を投げかけているかなど大学における積極的な授業参加の姿勢を学び取った。 |
| 留学先大学への支払い方法 | 0 |
| 履修した科目 | イタリア文化導入 |
| 授業内容 | イタリアの文化（広く文学から美術など）について、主に留学生向けである英語開講のレクチャー型講義。スライドショーを利用して教授が話している中、チャット機能を使って質問を投げかけて参加することもできた。 |
| 授業の開講時間および現地時間との時差 | 2:00~4:00（時差7h、当時） |
| 外大の授業との両立について | 先にも述べた通り、留学生向けの講義であったため、どの学部の留学生も参加できるようにと現地のすべての講義が終わった時間（22:00より）に開講されていた。日本からは参加がとても厳しい時間帯であった。渡航を控えていたため外大の講義は受講していない。 |
| 授業内容やプログラム全体に対する感想 | 教授やプログラムの内容によって質が異なるように感じた。 |
| 現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について | 上記のような機会はなかった |
| 交流活動の具体的内容 | 0 |
| プログラムに対する満足度（10段階：低1～高10） | 6 |
| その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想） | 0 |
| 今後の予定について教えてください。 | 現地渡航し、同じ大学の派遣（交換）留学プログラムに参加 |
| 「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。 | 0 |
| 今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど | 講義の時間を早いうちに把握し、生活リズムにうまく組み込むこと。 |